

承認		審査	
再処理事業部長	再処理工場長	再処理工場 副工場長(保全)	
		( . . . )	( . . . )

作成			
保全企画部長	保全企画部 保全企画グループ		
	G L	副 長	主 任
担当			

再処理事業部  
 施設管理の有効性評価結果記録  
 (2022年度)  
 評価期間：2023年1月から2023年3月

1. 保全の有効性評価結果を踏まえた評価

2022年度(評価期間:2023年1月から2023年3月)の保全の有効性評価結果記録(全体)(添付資料-1および添付資料-2)をインプット情報とし、以下の観点で施設管理の有効性を評価した。

(1) 評価の観点

- a. 保全の有効性評価実施頻度の妥当性
- b. 保全の有効性評価結果に対する根拠の明確性
- c. 評価の一貫性

(2) 再処理施設の評価結果

- a. 保全の有効性評価実施頻度の妥当性

「保全の有効性評価結果記録(全体)」は、「再処理事業部 保全管理細則」にて要求しているとおり、年度に1回以上の作成が必要である。

「保全の有効性評価結果記録(全体)」は2023年1月1日から2023年度3月31日の期間を対象に作成されており、「保全データの推移および経年劣化の長期的な傾向監視の実績」についても同じ期間を対象に評価されていることを確認している。評価結果は、保全の有効性評価の実施頻度の要求を満たしている。

- b. 保全の有効性評価結果に対する根拠の明確性

「保全の有効性評価結果記録(全体)」(添付資料-1)において、各保全部門が作成した「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」を取りまとめ、保全計画への反映事項の有無を評価しており、改善の要否判断に当たっては、その根拠を示しているため、保全の有効性評価結果に対する根拠を明確化している。

- c. 評価の一貫性

保全の有効性評価は、「再処理事業部 保全管理細則」および「再処理事業部 保全管理マニュアル」に基づき実施されている。また、2022年度の単年度の評価だけでなく、前年までの「保全の有効性評価結果記録(全体)」についても確認し、長期的な傾向監視の実績を踏まえて評価していることから、一貫性の評価ができています。

(3) 廃棄物管理施設の評価結果

- a. 保全の有効性評価実施頻度の妥当性

「保全の有効性評価結果記録(全体)」は、「再処理事業部 保全管理細則」にて要求しているとおり、年度に1回以上の作成が必要である。

「保全の有効性評価結果記録(全体)」は2023年1月1日から2023年度3月31日の期間を対象に作成されており、「保全データの推移および経年劣化の長期的な傾向監視の実績」についても同じ期間を対象に評価されていることを確認している。評価結果は、保全の有効性評価の実施頻度の要求を満たしている。

- b. 保全の有効性評価結果に対する根拠の明確性

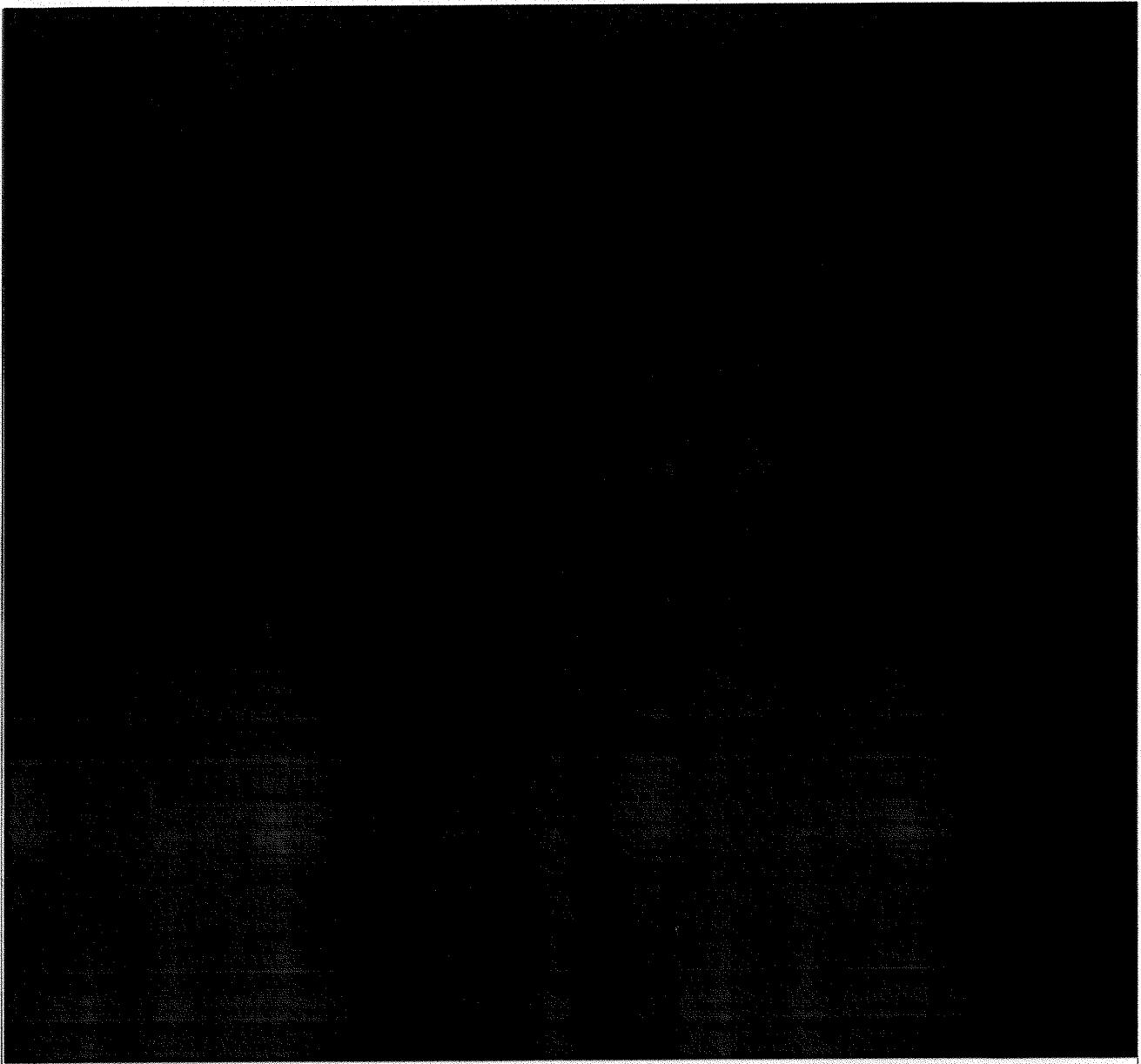
「保全の有効性評価結果記録(全体)」(添付資料-2)において、各保全部門が作成した「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」を取りまとめ、保全計画への反映事項の有無を評価しており、改善の要否判断にあたってはその根拠を示しているため、保全の有効性評価結果に対する根拠を明確化している。

- c. 評価の一貫性

保全の有効性評価は、「再処理事業部 保全管理細則」および「再処理事業部 保全管理マニュアル」に基づき実施されている。また、2022年度の単年度の評価だけでなく、前年までの「保全の有効性評価結果記録(全体)」についても確認し、長期的な傾向監視の実績を踏まえて評価していることから、一貫性の評価ができています。

(4) 保全の有効性評価結果を踏まえた評価

「保全の有効性評価結果記録(全体)」(評価期間:2023年1月から2023年3月)は、再処理施設、廃棄物管理施設ともに、評価の観点全てを満たしており、2023年1月から2023年3月における保全の有効性評価に係る施設管理は有効に機能していると評価する。



【評価者：再処理事業部長 宮越 裕久】

2. 施設管理目標の達成度を踏まえた評価

2022年度(評価期間:2023年1月から2023年3月)の施設管理目標の達成度(添付資料-3)をインプット情報とし、以下の観点での施設管理の有効性を評価した。

(1) 評価の観点

- a. 施設管理目標の達成状況
- b. 施設管理目標の未達がある場合、是正状況
- c. 施設管理目標の達成に向けて実施した活動
- d. 原子力安全に影響があるような事象の有無
- e. 品質保証標準類に従った未達の案件に対する対応(特にCAQ)状況

(2) 再処理施設の評価結果

- a. 施設管理目標の達成状況



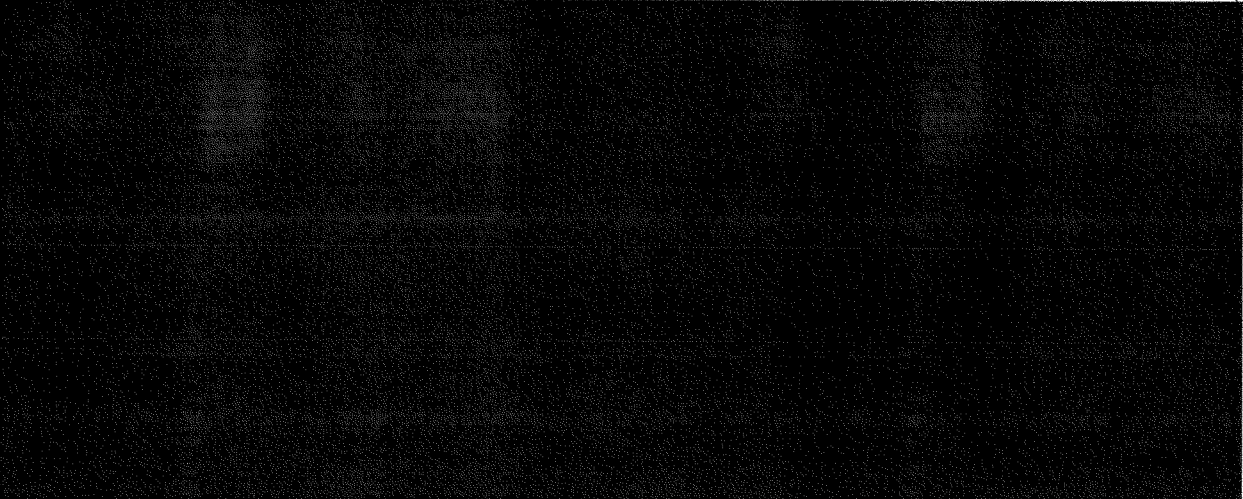
- b. 施設管理目標の未達がある場合、是正状況



- c. 施設管理目標の達成に向けて実施した活動



- d. 原子力安全に影響があるような事象の有無



- e. 品質保証標準類に従った未達の案件に対する対応(特にCAQ)状況

施設管理目標の達成状況のとおり、新たに発生した未達は保全研修プログラムに基づく教育・訓練の受講率が達成しなかったものであり、CAQ案件が新たに発生したものではない。

(3) 廃棄物管理施設の評価結果

a. 施設管理目標の達成状況

評価期間において、新たに発生した未達の事象はなく、前評価期間（2022年4月から2022年12月）の結果に影響はしないことを確認した。

b. 施設管理目標の未達がある場合、是正状況

c. 施設管理目標の達成に向けて実施した活動

d. 原子力安全に影響があるような事象の有無

e. 品質保証標準類に従った未達の案件に対する対応（特にCAQ）状況

(4) 施設管理目標の達成度を踏まえた評価

a. 再処理施設の評価結果

b. 廃棄物管理施設の評価結果

廃棄物施設については、評価の観点全てを満たしており、2023年1月から2023年3月における施設管理は有効に機能していると評価する。

【評価者：再処理事業部長 宮越 裕久】

3. 総合評価

【評価者：再処理事業部長 宮越 裕久】

4. 改善指示事項

No.	改善指示事項	対応部署
1		

【評価者：再処理事業部長 宮越 裕久】

承認	審査	作成
再処理事業部長	保全技術部長	保全技術課長

保全の有効性評価結果記録  
(全体)

有効性評価番号		有効性評価件名	2022年度保全の有効性評価結果(全体)再処理施設
評価年月日	2023年6月29日	評価対象期間	2023年1月1日～2023年3月31日 1.(2)のみ2022年4月1日～2023年3月31日
有効性評価件名 詳細	「再処理事業部 保安全管理細則」に基づき、2023年1月1日から2023年3月31日の期間を対象とした再処理施設の保全の有効性評価(全体)を実施した(再処理施設・廃棄物管理施設の共用施設は再処理施設として扱う)。なお、「1.(2)保全データの推移および経年劣化の長期的な傾向監視の実績」については、2022年度の保全データを2023年4月以降に集計する計画としているため、2022年4月1日から2023年3月31日の期間を対象とし評価を行った。 評価の結果、改善事項はなく適切に保全が実施されていると評価する。		

1. インプット情報

(1) PCの監視結果に係るデータ

No.	内容
1	保全活動管理指標監視結果(添付資料1)
2	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」評価まとめ(再処理施設)(添付資料2)

(2) 保全データの推移および経年劣化の長期的な傾向監視の実績

No.	内容
1	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」評価まとめ(再処理施設)(添付資料2)

(3) トラブル等運転経験に係るデータ

No.	内容
1	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」評価まとめ(再処理施設)(添付資料2)

(4) 経年劣化に関する技術的な評価結果

No.	内容
1	
2	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」評価まとめ(再処理施設)(添付資料2)

(5) 他プラントのトラブルおよび経年劣化傾向に係るデータ

No.	内容
1	
2	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」評価まとめ(再処理施設)(添付資料2)

(6) リスク情報および科学的知見

No.	内容
1	
2	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」評価まとめ(再処理施設)(添付資料2)

2. 保全の有効性評価結果

No.	評価項目	評価内容
1	PCの監視結果に係るデータ	「保全活動管理指標監視結果」を評価した結果、プラントレベル、系統レベルともに目標値を超過した指標はなかった。また、「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」を確認した結果、PCの監視結果に係るデータに基づく保全計画への反映事項がないことを確認した。
2	保全データの推移および経年劣化の長期的な傾向監視の実績	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」を確認した結果、A評価機器、B評価機器、C評価機器、D評価機器、その他機器であり、保全の有効性評価の結果と子の情報および必要となる改善内容を記録していることを確認した。なお、A/B評価の改善要の内訳としては、C/D評価の改善否の内訳としては、 であり、適切な根拠であることを確認した。また、経年劣化の長期的な傾向監視の実績として「前年までの保全の有効性評価結果記録(全体)」を確認した結果、保全計画への展開が必要と判断した対象がないことを確認した。以上より、適切な保全が実施されていると評価する。
3	トラブル等運転経験に係るデータ	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」を確認した結果、トラブル情報として保全計画へ反映が必要な対象機器が機器あり、点検周期の変更や有効保全項目の追加等を実施する計画であることを確認したため、適切な保全が実施されていると評価する。
4	経年劣化に関する技術的な評価結果	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」を確認した結果、経年劣化に関する技術的な評価結果に基づく保全計画への反映事項がないことを確認した。
5	他プラントのトラブルおよび経年劣化傾向に係るデータ	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」を確認した結果、他プラントのトラブルおよび経年劣化傾向に係るデータに基づく保全計画への反映事項がないことを確認した。
6	リスク情報および科学的知見	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」を確認した結果、リスク情報および科学的知見に基づく保全計画への反映事項がないことを確認した。

3. 改善内容

保全の有効性評価№	改善内容	対応部署
1	評価の結果から改善すべき事項はなかった。	-
2	評価の結果から改善すべき事項はなかった。	-
3	評価の結果から改善すべき事項はなかった。	-
4	評価の結果から改善すべき事項はなかった。	-
5	評価の結果から改善すべき事項はなかった。	-
6	評価の結果から改善すべき事項はなかった。	-

4. 添付資料

No.	資料名称
1	保全活動管理指標監視結果
2	「保全の有効性評価結果記録(個別機器)」評価まとめ(再処理施設)

# 添付資料 1

A5-B1-09-007-06  
様式-4

保安に関する 記録の確認 核燃料取扱主任者	保安に関する 記録の確認 廃棄物取扱主任者	作成部署：保全技術部 保全技術課		
		承認 課長	審査 T L	作成 主任

## 保全活動管理指標監視結果

### 1. 監視期間

2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日

### 2. 集計期間

2023年 1月 1日 ~ 2023年 3月 31日

### 3. 指標実績

#### (1) プラントレベル PC

保全活動管理指標	目標値	回数	備考
設計基準事故時に期待している機能の作動回数等（再処理施設）			監視対象は、「安全保護回路の作動回数」および「燃料貯蔵プール等の異常な水位の低下回数」。
ガラス固化体の冷却空気温度の異常件数（廃棄物管理施設）			-

#### (2) 系統レベル PC

保全活動管理指標	目標値	回数	備考
保全による予防可能な機能故障件数（安重）			-
安全系の非待機時間			監視対象は、非常用 DG。

添付資料2 「保全の有効性評価結果記録（個別機器）」評価まとめ（再処理施設）

1. インプット情報収集期間

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

2. インプット情報に対する改善要否の状況

(1) 改善要否数

No.	インプット情報	対象機器数※1	インプット 情報数	改善要否	
				要	否
1	PCの監視結果に係るデータ				
2	保全データの推移および経年劣化の長期的な傾向監視の実績				
3	トラブル等運転経験に係るデータ				
4	経年劣化に関する技術的な評価結果				
5	他プラントのトラブルおよび経年劣化傾向に係るデータ				
6	リスク情報および科学的知見				

※1 機器単位で周期設定グループごとに適用している保全方式に基づき評価した機器数



3. 保全データの推移および経年劣化の長期的な傾向監視の実績の集計結果

(1) 全対象機器の評価数

No.	点検結果確認シート 点検結果の評価区分※1※2	対象機器数※3	改善要否	
			要	否
1	A			
2	B			
3	C			
4	D			
5	その他※4			
計				

- ※1 1機器の中に評価が複数種類あるものは評価が低い方としてカウントしている
- ※2 評価区分は「再処理事業部 作業要領（手順）書・報告書 作成および運用マニュアル」に基づく
- ※3 機器単位で周期設定グループごとに適用している保全方式に基づき評価した機器数
- ※4 不適合対応中や部位無し等により点検できなかった機器

(2) TBMの適用機器の評価数

No.	点検結果確認シート 点検結果の評価区分	対象機器数※1	改善要否	
			要	否
1	A			
2	B			
3	C			
4	D			
計				

- ※1 点検手入力前データを採取出来ない対象機器は除く

(3) CBM または状態監視の適用機器の評価数※2

No.	点検結果確認シート 点検結果の評価区分	対象機器数※1	改善要否	
			要	否
1	A			
2	B			
3	C			
4	D			
計				

※1 点検手入れ前データを採取出来ない対象機器は除く

※2 ここではCBM または状態監視の適用機器の有効保全項目は、  
 [redacted] とする

4. 保全の有効性評価結果

(1) 保全活動管理指標に係るデータ

「保全活動管理指標監視結果」を評価した結果、プラントレベル、系統レベルともに目標値を超過した指標はなかった。また、「保全の有効性評価結果記録（個別機器）」を確認した結果、PCの監視結果に係るデータに基づく保全計画への反映事項がないことを確認した。

(2) 保全データの推移および経年劣化の長期的な傾向監視の実績

「保全の有効性評価結果記録（個別機器）」を確認した結果、A評価 [redacted] 機器、B評価 [redacted] 機器、C評価 [redacted] 機器、D評価 [redacted] 機器、その他 [redacted] 機器であり、保全の有効性評価の結果とその根拠および必要となる改善内容を記録していることを確認した。なお、A/B評価の改善要の内訳としては [redacted]

[redacted]、C/D評価の改善否の内訳としては [redacted]

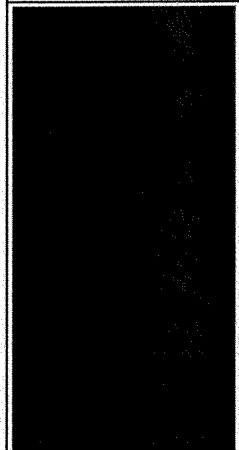

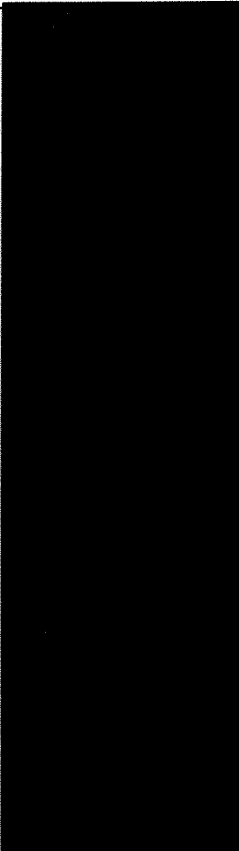
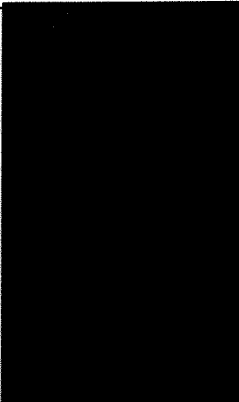
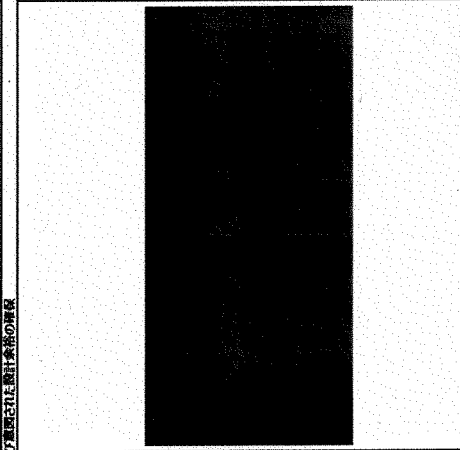


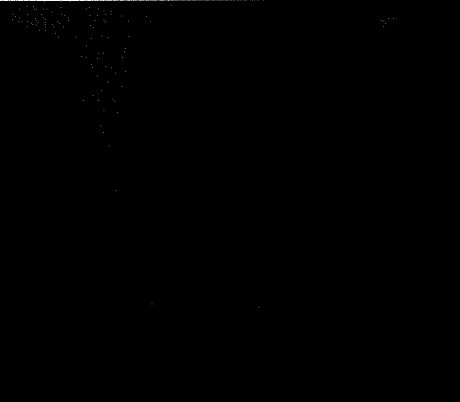
[redacted] であり、適切な根拠であることを確認した。また、経年劣化の長期的な傾向監視の実績として「前年までの保全の有効性評価結果記録（全体）」を確認した結果、保全計画への展開が必要と判断した対象がないことを確認した。以上より、適切な保全が実施されていると評価する。

- (3) トラブル等運転経験に係るデータ  
「保全の有効性評価結果記録（個別機器）」を確認した結果、トラブル情報として保全計画へ反映が必要な対象機器が機器あり、点検周期の変更や有効保全項目の追加等を実施する計画であることを確認したため、適切な保全が実施されていると評価する。
- (4) 経年劣化に関する技術的な評価結果  
  
また、「保全の有効性評価結果記録（個別機器）」を確認した結果、経年劣化に関する技術的な評価結果に基づく保全計画への反映事項がないことを確認した。
- (5) 他プラントのトラブルおよび経年劣化傾向に係るデータ  
  
また、「保全の有効性評価結果記録（個別機器）」を確認した結果、他プラントのトラブルおよび経年劣化傾向に係るデータに基づく保全計画への反映事項がないことを確認した。
- (6) リスク情報および科学的知見  
  
また、「保全の有効性評価結果記録（個別機器）」を確認した結果、リスク情報および科学的知見に基づく保全計画への反映事項がないことを確認した。

以上

再処理事業部 品質目標/施設管理目標/労働安全衛生計画/業務目標 実績まとめ表  
2022年度 <第4四半期> / <3月>

№	課題/事項	達成指標	目標管理部署	実施責任部署	担当部署(課長等)	実施状況	評価/備註
9	<p>【原子力安全、放射線安全、設備保護のリスクの削減】</p> <p>・修繕作業、改造等を実施する部署および設備を所管する部署は、原子力安全および設備保護に係るリスクを低減するため、作業開始前のリスク評価を徹底する</p> <p>・リスク評価にあたっては作業内容、隔離措置、設備の引き取り・引渡し条件等を確認した上で、原子力安全のリスク分析、設備への影響評価を確実に実施する</p>		保安企画部	保安企画部			
16	<p>【原子力安全、放射線安全に関するもの】プログラムの育成</p> <p>・保安部門は、安全、安定操業を実現するため、保安部門において実施している保安研修プログラムについて、更なるPDCAを回し、技術力の維持、向上等に向けた活動等を実施する</p> <p>①保安部門は保安研修プログラムに基づき教育、訓練を実施する</p> <p>②保安企画部はローマリーナ一時止活動と保安研修プログラムを取り入れて標準化する</p> <p>③電力支援者による保安技術力強化に關する活動のうち保安意識の改善および保安プログラムの定着支援活動の継続</p> <p>④JANSI支援活動対応No.25</p> <p>JANSIによるSAT支援で、JANSI推奨重点項目では終了していない項目（個別研修除くNo.25）について実施する。</p> <p>保安研修プログラムの取組の反映状況について、現在の保安教育プログラムの不十分およびSAT手法に基づく作成しているが、初めて実施したため不足等があるか見られない。</p> <p>⑤SATにおける更なる自主的改善の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-知識、技能の適切な抽出と精緻化</li> <li>-KSAから教育・訓練の要否判断</li> <li>-再配属者への教育・訓練の実施</li> <li>-OIT運用のガイドライン</li> </ul> <p>【必要な資源】</p> <p>保安意識化C票</p> <p>【結果の評価方法】</p> <p>達成指標の達成状況を確認する。</p>		保安企画部	保安企画部			

No.	取組の事項	達成指標	目標管理部署	実施責任部署	担当部署/担当者	実施状況	評価/取組
25	<p>【取組】<b>試験実施計画を含む試験・検査の信頼性及び透明性の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-試験・検査を実施する部署は、試験検査に係る要求事項（検査方法、判定基準等）を事前に確認し、要領書に要求事項を適切に反映することにより、試験検査のプロセスおよび結果の透明性を確保する</li> <li>-試験・検査を実施する部署は、必要に応じて、要領書の読み合わせ、現場確認、リハーサルの実施等により、要領書に適切に要求事項が反映されているか確認する</li> </ul>		<p>保全企画部</p>	<p>保全企画部</p>			
26	<p>【取組】<b>試験の設計要件、試験実施手順並びに物理的構成の信頼性と整合性を確保する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-設計要件、施設構成情報並びに物理的構成の信頼性と整合性を維持するため、社内標準類に基づき活動を確実に実施するとともに、以下の取組みを実施する</li> <li>-保全企画部は各部と連携し、CM推進WGの活動により、CMに必要な仕組みおよびシステムを整備する</li> <li>-各部署は、CMに係る教育を実施することで知識基盤を向上し、不適合を未然に防止する</li> </ul>		<p>保全企画部</p>	<p>保全企画部</p>			

再処理事業部 品質目標/施設管理目標/労働安全衛生計画/業務目標 実績まとめ表  
2022年度 <第4四半期> / <年度未実績>

No.	取組の事項	達成指標	目標管理部署	実施責任部署	担当部署/課長等	実施状況	目標	取組	評価/課題
33	<p>【施】保全プログラムに基づく保全の確保の取組</p> <p>再処理施設および廃棄物管理施設の安全および安定運転を確保するために策定された、保全プログラムに基づく保全の実施に関する以下の取組の進捗を以下のPCCAを回して、</p> <p>(1)保全活動管理指標の設定と監視計画の策定および監視 (2)保全計画の策定および実施 (3)保全の有効性評価の実施</p>		保全企画部	保全技術部					